

『大草小学校人権月間・人権集会』

今年度の人権月間(11/10～12/12)において、子ども会議で話し合ったテーマ「考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう ちがいを認め合う心」に合わせ、いろいろな活動に取り組んできました。その内容としては、学年・発達の段階に応じた「人権学習」や、全員で取り組んだ「人権標語」の作成、友達や仲間の素敵なおとこや言動、自分の成長などを、葉っぱに見立てたカードに記入し、そのカードを模造紙に描かれた木(「素敵なおとこ」「もっと素敵なおとこ」)に貼って紹介する取組などです。11日(木)には「人権集会」を実施しました。集会には、10名の人権擁護委員協議会の方々にお越しいただき、いじめを題材とした絵本「ぼくのきもち きみのきもち(人権啓発教材)」の読み聞かせをしていただきました。集会の終わりに、自分たちで育てたひまわりからできた種と子供たちが書いたお手紙を風船に付けて飛ばしました。(この取組も協議会の皆様にお世話いただきました。)風船に付けた手紙には、「読んでくれた方も笑顔になりますように。」「ひまわりの種を育ててください。」などのメッセージやイラストが添えられていました。風船を飛ばす際、そこに居る誰もが笑顔でした。メッセージにもあったように、「笑顔の輪が広がってほしいなあ。」と願いながら舞い上がる風船を見送りました。集会の中で、私も「金子みすゞ」さんの詩である「私と小鳥と鈴と」を紹介し、「大草っ子28名と周りに居る我々大人も、それぞれ違う。でも、それぞれみんな素敵なんだよ!」という想いを伝えました。少し硬い表現をすれば、自身の教育理念であり大切にしてきた、また、今後

も大切にしたい信条です。情報化やグローバル化が進む現代は「多様性の時代」とも呼ばれます。人権に係る課題は、およそいつの時代も難問ですが、これまで同様、大人も子供も学び続け、考え続け、磨き続けていく姿勢が肝要であると捉えます。今回の人権月間の取組もそうですが、引き続き学習と実践を通して「子供たちと我々大人も、みんながキラッと耀く学校創り」に努めていきたいと思えます。



「素敵なおとこ」の取組です。21日も掲示しております。



子供たちも大人も、たくさんの笑顔が耀いていました!

【子供たちの健康と安全管理のポイントとしてII】

今月8日(月)に、本校では初めてとなる「引き渡し訓練」を実施いたしました。「不審者事案」の想定です。通常の授業日の実施となるため、引き渡し(お迎え)については、保護者や御家族の御協力が不可欠となる訓練です。まず、一緒に実践いただいたことに感謝申し上げます。お忙しい中、メールの確認と返信、お迎えまで本当にありがとうございました。年度当初から「取り組まなければならない訓練」と位置付けて、準備をしておりました。これまでの実績がなかった分、まっさらの状態からの計画となりました。担当者を中心に、「どうすれば、子供たちの安全を確保できるか」「どのような方法ならば、確実に円滑に引き渡すことが可能か」等々の話し合いを経て本番を迎えました。安全管理のポイントとして、「想定範囲を広げる想像力と実践力」を重要な視点にしております。コロナ禍以降、学校現場はもとより、社会全体としても、よく見聞きするようになり、私自身も自校や地域の課題に目を向けたり、日々の情報収集、他校の取組等を参考にしたりしながら、想定範囲を広げる努力を重ねております。大切な命をお預かりしている以上、防げる事故や怪我は、防がねばならないと考えます。今回の実践で得た成果と課題も生かし、今後も、学校・家庭・地域が連携して、「地域の宝」である大草っ子の健やかな成長を支えていきたいと強く思えます。



引き渡し際の様子です。実際にやってみて分かったこともたくさんありました。

目標を達成した日の掲示板です。すごい!

【目標貸出冊数クリア…本との出会い】

年度当初に、今年度(4月から12月まで)の目標貸出冊数を「2300冊」と設定しました。前年度の冊数と児童数等を参考に決めてものでした。2300冊÷28名=82.1…冊となり、一人約82冊です。経験上、不可能ではないが、そう簡単ではない数値であると捉えていますが、一昨日見事に目標を達成できました。大草小の子供たちが、2300冊の本に出会えたことが、とても嬉しかったので、昨日の給食後に目標冊数をクリアしたことを報告して、みんなで喜びを分かち合いました。重ねて、私自身が冬休みに読むのを楽しみにしている本を提示し、「皆さんも多くの本を手にとって、好きな本やお気に入りの作家さんに出会ってほしい。」と伝えました。

